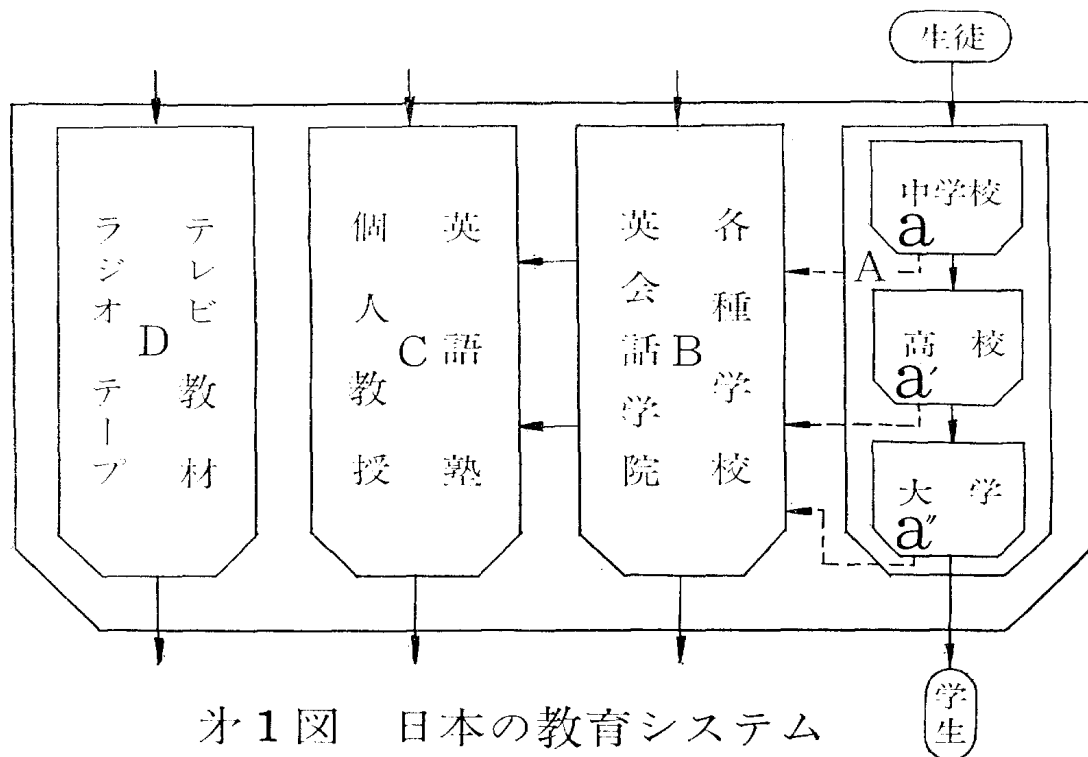


# 大学に於ける英語に関する意識調査

日 比 野 省 三

## 1. はじめに

工業化社会より情報化社会へ移行しようとしている現代日本において、最も重要であるもののひとつに教育の問題がある。教育の本質は常に変化せざるといえども、方法、内容については常に時代の流れと共に変えていくべきである。教育は世に変革をもたらし、時代の流れは教育の内容をいやがうえにも変化させるものである。筆者は、このダイナミックに変わりゆく教育に対処するため、新しい教育設計法として、SEDT (Systematic Education Design Techology) という方法論を提案しているが、この論文では新しい教育システムを SEDT で設計するにあたり、英語教育の分野をシステム的な観点からながめ直し、又設計のために行なった一連の情報収集活動の結果を報告するものである。



オ 1 図 日本の教育システム

第1図は、日本の英語教育システムを示す概念図である。日本の英語教育の主体をなす大システムAは、現在どんな機能を果しているであろうか。Aシステムは、インプットをどのように変化させてアウトプットにし、初期の機能をもったものにしたのだろうか。サブシステムa'、a''、a'''の関連に無駄がなかったであろうか。システムB、C、DとシステムAの機能の違いは何であろうか。はたしてシステムA、B、C、D間の相互関係はうまく調和がとれているだろうか。

これらの疑問に答えることが、トータル英語教育システムの検討の第一歩である。

明らかに現代の英語教育システムは、トータルシステム概念から考えれば、多くの無駄と機能的偏向があるように思われる。多くの英語教育学者が、この難問と取り組み解決の方向へ進みつつあるが、まだ充分とはいえない。この論文は一私立大学における調査結果であるが、よりよき英語教育システム実現のために少しでも参考になれば幸いである。

## 2. 大学に於ける英語教育システムの検討

SEDTにおいては、常にトータルシステムの考え方で設計を進めていかなければならない。それ故に中学の英語、高校だけの英語、大学に於ける英語教育というようなサブシステムのみを考慮して最適化を考えたとしても、かならずしも授業を受ける生徒にとっては、人生のトータルとして決して最適とはいえない。サブシステム間の相関と流れを考慮に入れたトータル英語教育であってこそ、最大効率があがるものと思われる。しかし、現実には各種の問題が制限条件として介在して、簡単にはこの理想的なトータルシステムを設計実施することは難しい。

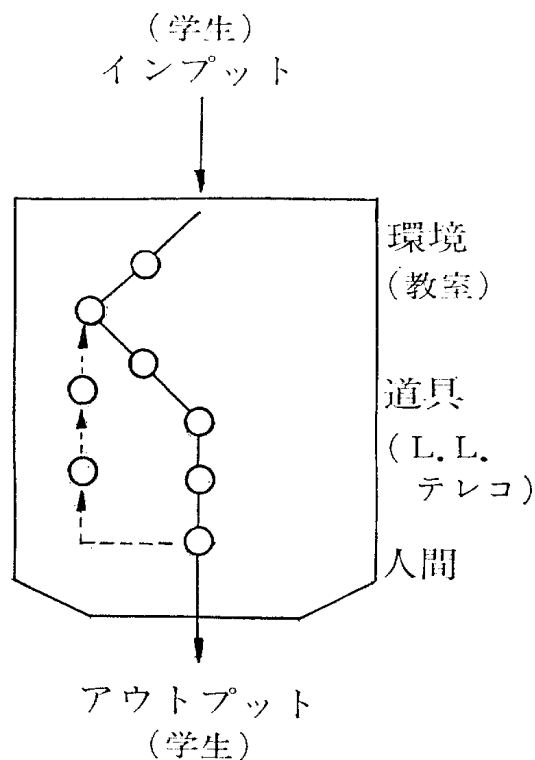
それ故、トータル英語教育システムを考えることが大切であることを認識した上で、大学に於ける英語教育サブシステムについて考えてみたい。

一般にシステムを考える時に、考察しなければならないのは、次の7つの要素である。すなわち、

イ、機能

- ロ, インプット
- ハ, アウトプット
- ニ, 順序
- ホ, 環境
- ヘ, 道具 (L. L. テープレコーダー)
- ト, 人間に関する事, 方法 etc.

〈第2図 教育システム〉



英語教育をシステムとして考えるならば、常に上記7要素の検討をおこなうわけにはいかない。それ故順を追って、大学英語教育について説明と検討をしてみたい。

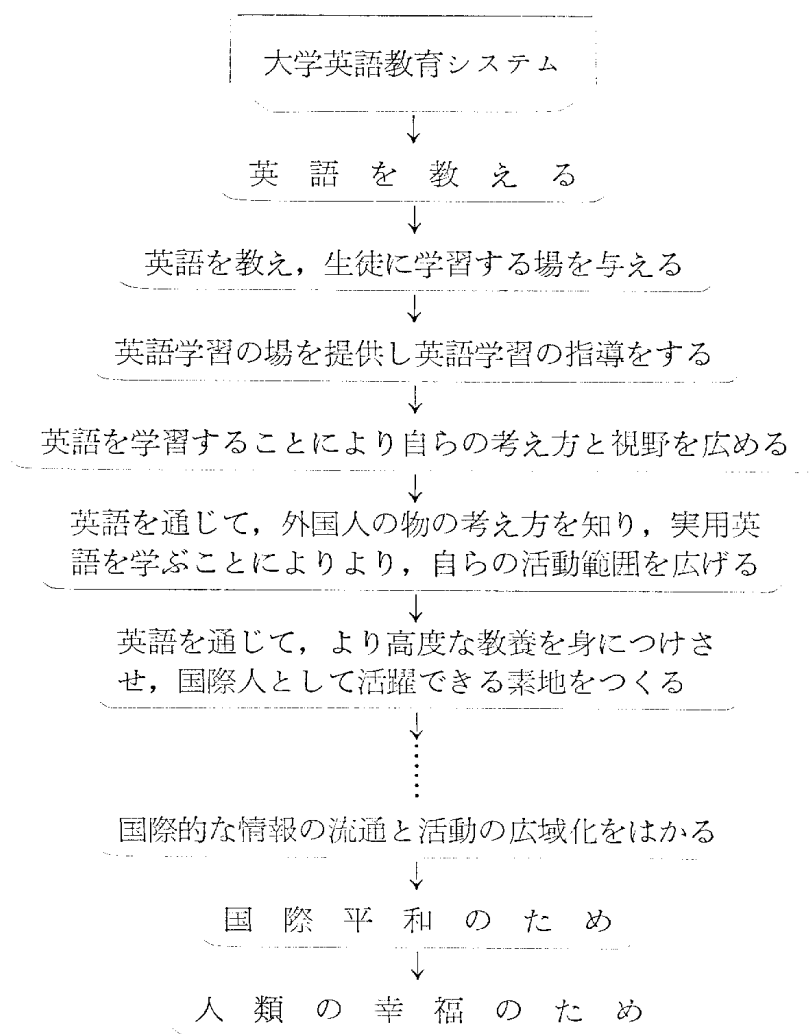
(2-1) 大学に於ける英語教育システムの機能

機能とは、辞書の示すところによれば、“何らかの事柄に関する特質的な行為、人または事柄に期待される振舞い、あるいは作業、特殊な目的”である。おそらく目的および役割という言葉が、機能に最もよく似た意味の類似語であろう。目的を定義すれば“意図した目標、または結果、それを達成すべきひとつの目標として、自分自身の前に提示するもの”であ

る。役割の定義は，“定まった仕事または用事”である。“機能”とは，その本来の意味するこれらの定義をまとめてあらわすと次のようになる。“ひとつのシステムの目標であり，また，そのシステムに期待されるものでもある。目的あるいは結果である。”

それでは，一体大学における英語教育システムの機能は何であろうか？第3図はSED Tによる機能展開図である。大学に於ける英語教育システムの機能は，できるだけ高いレベルで決定すべきである。英語という言語を教えるだけの低レベル教育であってはならないことはいうまでもない。

〈第3図 大学英語教育システム機能展開図〉



機能展開の結果として，われわれは次の機能をとりたい。すなわち，“英語を通じて，より高度な教養を身につけさせ国際人として活躍できる素地をつくる”

それでは、“より高度な教養”とは、“国際人”とはどんなことであろうか？、辞書によれば、教養とは、“単なる学殖・多識とは異なり、一定の文化理想を体得し、それに準じてあらゆる個人的精神能力の統一的創造的発達を身につけていること。その内容は時代や民族の文化理念の変遷に応じて異なる。”とあり、国際人とは“諸国家、諸国民との関係を有する人”であり、具体的には、広い視野、広い文化的素養を持つことと考えられる。

国際人として活躍できるためには、言語としての英語が完璧に実用的であること。外国人の考え方、マナーなどに精通していること、etc が考えられる。

結局、大学英語教育システムと他の英語教育システムとの大きな違いは、この高いレベルの機能にあるのではないだろうか？ この高さがあったこそ、大学英語の存在価値が生まれてくると思われる。

#### （2-2）大学教育システムのインプット

システムのインプットには、通常(a)そのシステムで処理される素材、（教育システムでは学生）(b)そのシステム内で、素材に添加される材料（教育システムでは教材又はソフトウェア）(c)そのシステムを動かすエネルギーなどの種類がある。

大学英語教育システムを設計するにあたっては、特に処理される素材の研究と、添加されるべきソフトウェアの研究に重点を置かなければならない。又、大学の新生は、すでに中学と高校のサブシステムにて処理されてきているだけに、インプットとしてかなり影響を与える。それ故に前段のサブシステムとの連関も重要な検討事項である。ともあれ、トータルとして学生に目的とした機能をつけさせることがシステム設計者の責任である。

#### （2-3）大学教育システムのアウトプット

このシステムを通過して出てきたアウトプットは、“よりレベルの高い教養人であり国際人である”ことはいうまでもない。

#### （2-4）順序

このシステムに入ってくる新生を、より高いレベルの教養人とし、国

際人に育成するために、どんな順序が必要であろうか。この問題はもうすでに、学習プログラムとか、カリキュラムの観点から、多くの人々に論ぜられ、実施せられてきた。これらの貴重な経験を充分生かして、システム設計へ取り入れていかなければならない。

#### （2—5）環境

このシステムで処理される素材は、血の通った人間であり、処理するのも人間である。その点を考慮に入れた環境が必要である。

#### （2—6）道具

科学文明のおかげで、最近はどんな教育機器でも作成可能になってきた。この文明の利器を活用することなしに、システムを組むべきではない。“英語を通じて、より高度な教養を身につけさせ、国際人として活躍できる素地をつくる”という機能を達成させるための道具であるならば、経済的な制約条件が許す限り、近代教育工学機器（CAI, OHP, ITV, スライド, 映画, TV, テープレコーダー, L. L., ティーチングマシン, etc）を積極的に取り入れるべきである。

#### （2—7）人間に関すること

先生もシステムの重要な一要素であることを認識し、上記の機能を達成するため、あらゆる努力をし、又行動方式を確立する必要がある。

以上、非常に簡単ではあるが、大学の英語教育をシステムの観的より考察してみた。実際のシステムでは、英文学、心理学、経営学 etc の力を借りて、設計を進めていかなければならないし、かなりの情報を集めなければならない。

以下は、英語教育システムを設計するために筆者が収集した情報の一部であり、今後の授業計画に何らかの参考となれば幸いである。

### 3. インプット調査

#### （3—1）意識調査の意義

システム内で処理される素材の研究は、前述した通り非常に重要である。

大学に於ける英語教育システムのインプット調査としてしなければならない事項は、

(1)インプットの学力レベル、(2)インプットの英語に関する意識の二項目である。(1)項については、実際には各種のテストを用いて調査する必要があるが、現在設計の対象となっている中京大においては、各英語担当の先生方の日常の試験成績を参照すれば、概略推定できるので、ここで詳細を報告するまでもない。このシステム設計では第(2)項の方がより心理学的に見て重要であり、今後の学生に英語に対するインセンティブを与える重要な Key を与えるものである。

インプットが、感情を持った人間であるが故に、そのインプットが持っている意識と全くかけ離れたシステムを設計し、運営していくことは全く不可能である。その意味でここに英語に関する意識を調査する意義があるのである。

### (3-2) 調査方法

調査方法は、対象学校全員より、ランダムサンプリングを行ない集計された。

#### (イ) 調査対象

システム設計対象となる中京大学生7340名（但し、文学部は異質なるが故に調査対象より除く）及び参考として名古屋にある私立女子短期大学生800名、及び私立A工業大学第2部学生561名について調査が行なわれた。中京大学は、名古屋地区にあり中堅私立大学として全国的に有名であるが、学生の英語に関するレベルは、学生間によってかなりバラツキがある。それ故この調査結果は、中京大学のみならず同じような中堅私立大学の英語教育システムを設計する際に役立つものと考えられる。

#### (ロ) 標本数の決定

統計的議論については、末節の文献を参照していただくこととして、一般に標本数は次の式にて決定することができる。すなわち、

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\epsilon}{\lambda}\right)^2 \frac{N-1}{p(1-p)} + 1}$$

n…必要な標本数

N…母集団の数

$\epsilon$ …誤差の幅（%）

$\lambda$ …信頼度

P…分散（比率）

この調査では、余り精度を必要としないということで信頼度を95%（ $\lambda = 2$ ），誤差の幅を5%（ $\epsilon = 0,05$ ）とし、分散は不明なので、最大の場合でおさえおけば安全と考えられる。そこでP（1-P）が最大になるPの値、すなわちP=0,5として標本数が決定された。

〈第1表 在籍学生数及び標本数〉

中京大学47年度在籍学生数

学 部 \ 学 年	1	2	3	4	合 計	N=7,340 n = 380名
法 学 部	457	450	349	307	1563	
商 学 部	939	990	858	714	3500	
体 育 学 部	565	575	556	581	2277	
但し文学部を除く					総合計	7340人

※ 中京大学標本数（N=7340,  $\epsilon=0,05$ ,  $\lambda=2$ , P=0,5）

$$n = \left( \frac{0,05}{2} \right)^2 \frac{7340}{0,5 \times 0,5} + 1 = \frac{7340}{193475} = 379,377 \approx 380 \text{ (名)}$$

A工業大学第2部在籍学生数

学 科 \ 学 年	1	2	3	4	合 計	N= 561 n = 234名
電 気 工 学	108	73	81	51	313	
機 械 工 学	87	69	44	48	248	
総合計					651	

※ A工業大学標本数（N=561,  $\epsilon=0,05$ ,  $\lambda=2$ , P=0,5）



$$n = \frac{561}{\left(\frac{0,05}{2}\right)^2} - \frac{561-1}{0,5 \times 0,5} + 1 = \frac{561}{2,4} = 233,75 \approx 234 \text{ (名)}$$

I 女子短期大学在籍学生数

学 科 \ 学 年	1	2	合 計	N = 800 n = 267名
商 経 科	150	150	300	
保 育 科	150	150	300	
家 政 科	100	100	200	
総合計			800	

※ 女子短期大学標本数

$$n = \frac{800}{\left(\frac{0,05}{2}\right)^2} - \frac{800-1}{0,5 \times 0,5} + 1 = \frac{800}{29975} = 266,889 \approx 267 \text{ (名)}$$

(イ) 調査内容

調査は次の16項目についてなされた。

1. あなたは“英語”と聞いて何を連想しますか。
2. あなたは“英語”が好きですか？それではなぜ（好き）（嫌い）になりましたか。
3. あなたは現在英語の必要性を感じていますか。
4. あなたの人生において将来英語が必要となると思いますか。
5. あなたの現在の英語の実力は同じ年代の大学生と比較して、どの程度の自信をお持ちですか。
6. あなたの英語の実力は、実用になると思いますか。
7. あなたは何のために、現在英語を学んでいますか。
8. 大学入学以前の英語教育についてあなたは満足していますか。
9. 現在の大学の英語教育についてあなたは満足していますか。
10. あなたの英語に関する実力のうち、最も弱い面はどれですか。
11. あなたは大学の英語の授業において何を希望しますか。

12. 大学の英語のクラスを実力別編成にすることに対して賛成ですか。
13. 英語のクラスを目的別実力別に編成し、自由に選択出来るシステムを導入してほしいと思いますか。
14. あなたは将来とも英語を学んでいきたいと思いますか。
15. あなたは大学の3年生以上に英語の上級クラスが開講されるとするならば、その授業を受けたいと思いますか。
16. あなたは学校教育以外の場で英語を学んだことがありますか。

#### 4. 調査結果

質問1, あなたは“英語”と聞いて何を連想しますか？

この質問に対して、最も多い答は、外国に関することで、“アメリカ” “イギリス” “外国” “海外旅行” “外国語” “世界共通語” “国際社会” “外人” etc であり、英語と聞いて、イギリスよりアメリカを連想する人が多いことと、カナダ、オーストラリアなど他の English Speaking People が連想されないことなど、日本人の英語はアメリカの影響が大きいことを示しているものと思われる。又、英語が世界共通語で外人総てが話すものだという意識を持っているのも、日本人学生の特長だと思われる。同じ質問をフランス人学生にしたならば全く異なった連想になるであろう。

次に多い答は、英語に対する重圧感、拒否反応的な連想で、例えば“また悩まされる” “嫌いなもの” “いやなこと” “頭が重くなる” “難しい” “ゆううつ” “おそろしい” “理解しがたい” “ヘドが出る” “不安” “どんより低くたれさがった雲にすいこまれるような” “テスト” etc である。かなり多くの学生が、直感的にこれらの連想をするということは、今までの英語教育に何か欠陥があったのではないだろうか。これらの答をした学生をインプットして、より高い教養人と国際人を養成するためには、かなりのインセンティブを与えるシステムを設計する必要があるだろう。“好きこそ物のじょうずなれ” という諺通り、このインプットに対しては、英語を教えるよりもまず好きになるシステムの確立が先決である。

次に多い答は、英語に対して願望を表明するもので、“好きになりたい”

“マスターしなければ！” “話したい，自由に使いたい” “素晴らしい—もし自由に話せたら！” “やはり英会話くらい話せなくちゃ” “話せる人はいいなあ” “実力をつけたい” “話せるようになったらなあ” “外人と話がしたい” “魅力ある科目だが” etc である。この学生達は現実に英語の実力はないのだが，必要性を感じ，何とか英語が自由に使えたらと感じているが，どうしてよいかかわからない人が大部分である。

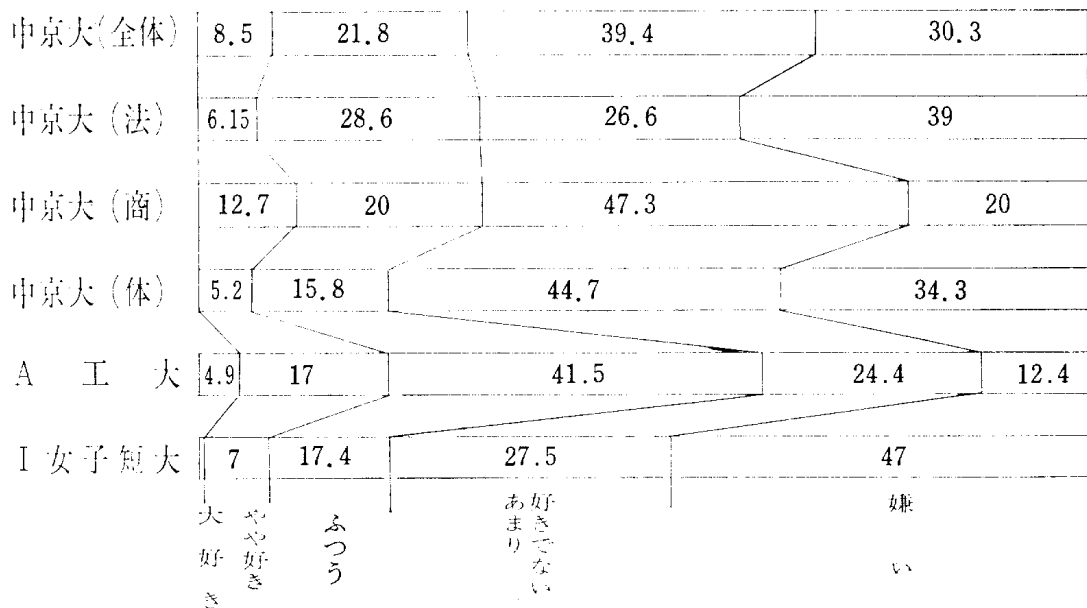
興味のあることは，ほとんどの学生が，外人と話ができたらなあという願望を持っていることで，いかに現代学生が英会話に魅力を感じているかを示している。この点が，おそらく戦前の学生と異なっている点ではなかろうか。読む英語から，実用となる英語への変遷，すなわちそれは科学文明の発達により，世界が急速に小さくなったために，必然的に学生の意識に変化を与えた結果であろう。

この事実は，今後の英語教育法に大きく影響を与えることであろう。

以上の他，“必要大であるが，実力つかずの科目” “映画，洋画” “通訳” などがあるが，詳細は省略する。

質問2，あなたは“英語”が好きですか？

〈第4図 英語に対する嗜好性〉



第4図は，英語に対する嗜好性の結果を表わしたものである。予想通りA工大を除いて約70%の学生が“英語が嫌い”か“あまり好きでない”と

答えている。好きの部類の学生は10%にも満たないことを考えると、ほとんど授業中は、学生の70~80%は嫌いなものを受けて時間をつぶしていることになる。これでは授業の能率があがるわけではない。ここに現代学生にいかに関心を持って興味を持たせ、好きで学習させるインセンティブを教育システムの中に導入するかという問題が浮かび上がってくる。そこで、その問題の解決のヒントをつかみ出すために、次に“それでは、なぜ(好き)(嫌い)になりましたか?”という質問を試してみた。

(好き)になった理由として、一番多い答は“過去に外国人と何らかの関係があった(例えば、姉がアメリカに住んでいた、アメリカにペンパルが居る、アルバイトで米国人とつきあったことがある、アメリカの友人がいる、アメリカ人と話したことがある etc)ので、その時以来好きになった。”ということである。また“外国へ行きたいから”とか“将来必要と思って熱心に勉強した”とかいう…必要性から好きに変わった例もある。わずかではあるが、中学校、高校の英語の先生が良かったから好きになったという学生もいる。

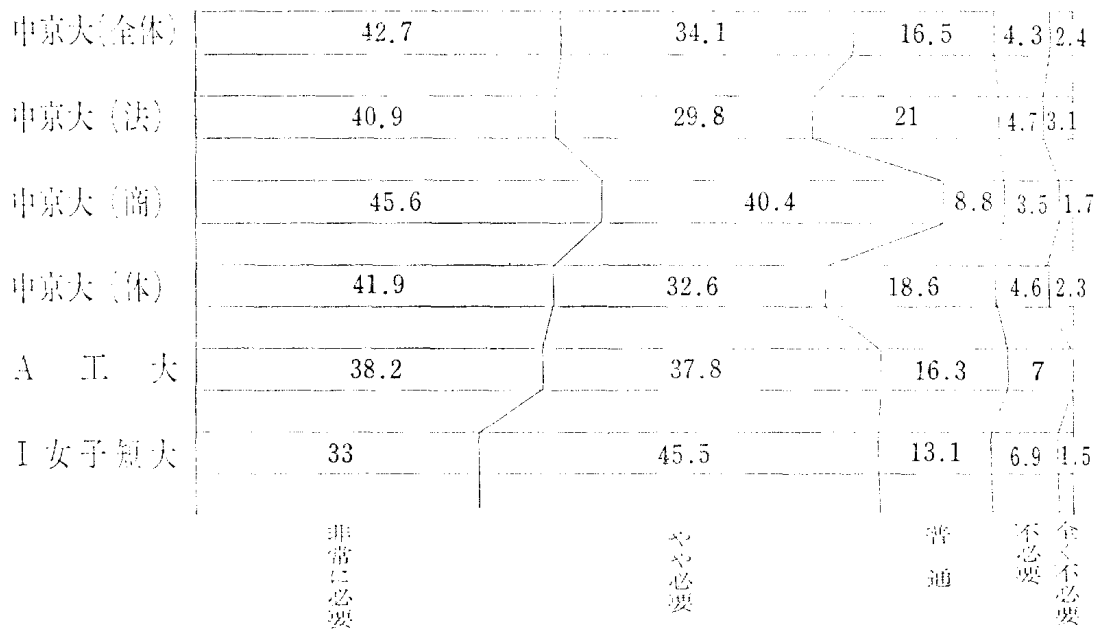
(嫌い)になった最大の理由は、中学校時代に何らかの理由(さぼってやらなかった、先生の教え方が悪かった etc)で、基礎的なことがわからなくなり、そのまま進学してきたので全くわからず嫌いになった。又は、“中学時代におもしろくもない文法ばかり詰めこまれたので嫌いになった”とか、中学時代の先生が嫌いだったから etc で、最初の英語の学習始めにすでに嫌いになった学生がほとんどであり、基礎的な事が全く理解できていないところに特長があるように思われる。

大学の英語教育システムの機能を達成するためには、少なくとも前段階のサブシステムの最適化を計画することが必要であり、ここにトータルシステム概念が重要になってくる。ともあれ、わからないから面白くなく、面白くないから嫌いだという学生が圧倒的である。その根源をたどれば、中学時代の英語教育という結果が表われてきている。それ故にいかに関心を持って中学時代における英語教育システムが重要であるか、もう一度よく再認識をする必要があるように思う。一部には、中学1年の授業は簡単だという声も

あるが、中学1年の授業こそ最高の先生と設備と学習プログラムを用意する必要があることは、この調査でも結論できることである。

その他の嫌いな理由としてあげているのは、英語の授業に魅力が欠けている、表面的な授業のため英語に親しむ機会が少ない、実用的な授業でないため、長年やっても全然進歩のあとが見られない、語学として強制的に頭に詰めこまれてきたから、中、高時代から文法だけを強要されたからなど、システム設計をする上に参考になる意見を多く集めることができた。

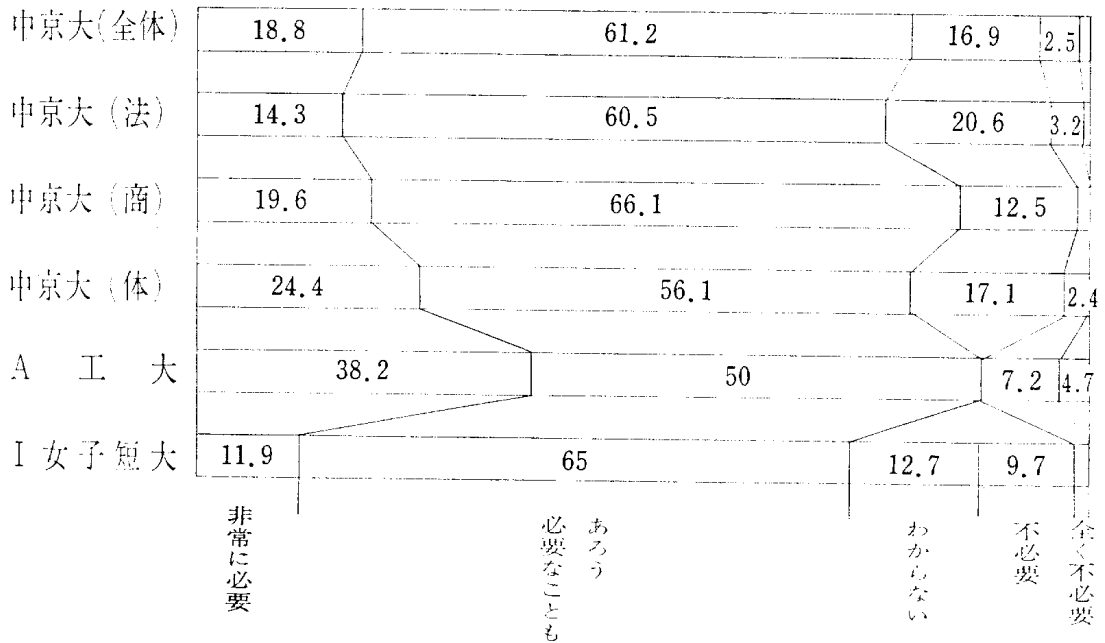
質問3、あなたは現在英語の必要性を感じていますか？



〈第5図 英語の必要性(現在)〉

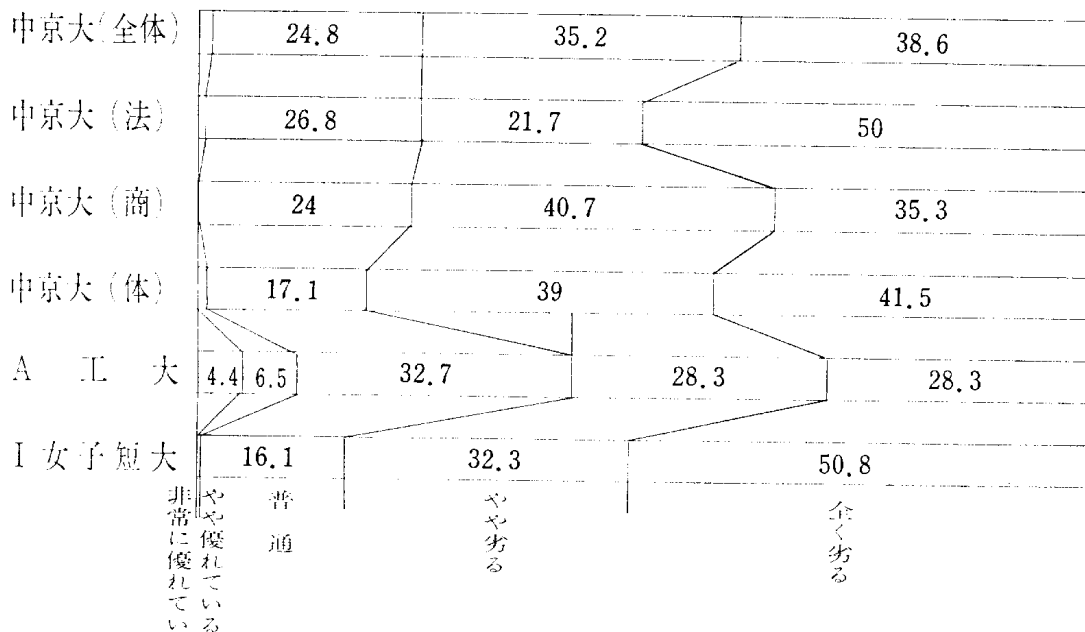
質問3（第5図）、質問4（第6図）は、現在英語の必要性を非常に感じている学生は、中京大全体で43%、やや必要と感じている学生をも含めると、70~80%にも達し、大きな割合になる。一方、将来の必要性をどう感じているか、という質問に対し、非常に必要になるだろうと感じている学生は、若干減少しているが、必要なこともあろうと考えている学生をも含めると、やはり80%近い割合で必要性を感じていることになる。不必要、全く不必要と感じている学生は、全体の数%にすぎず、いかに現代においては、ほとんどの学生が英語の必要性を認識しているかを示している。ここに時代の流れが端的に表われており、この時代の流れにそった新しい英語教育システムの確立を急がなければならない。

質問4. あなたの人生において将来英語が必要となると思いますか？



〈第6図 英語の必要性(将来)〉

質問5. あなたの現在の英語の実力は同じ年代の大学生と比較して、どの程度の自信をお持ちですか



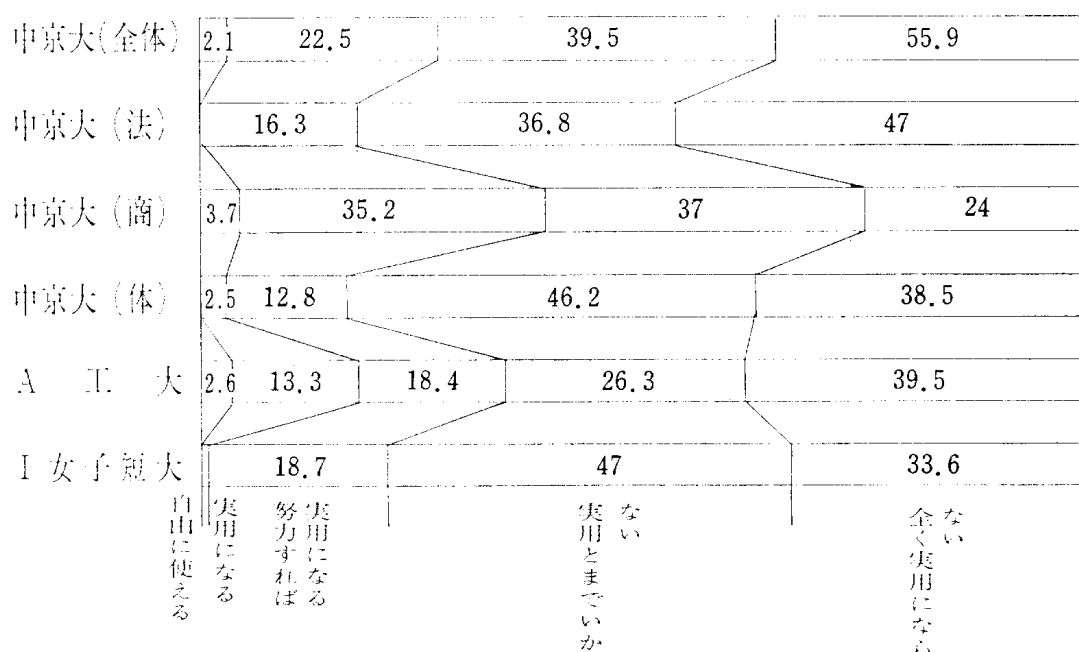
〈第7図 英語の実力〉

質問5（第7図）は、大学生が自分の語学力をどの程度に評価しているかを調査したものである。

優れていると思っている学生は、ほとんどいない（0～数%）。大部分

(70~80%)の学生は，“自分は他の大学生と比較して英語力が劣っている”と感じている。中京大学の学生の語学力の実際の調査は、最近なされていないが、入学試験結果、高校からの調査書、及び大学に於ける授業中の試験結果などから総合判断すれば、わずかではあるが、かなり英語力を持っている学生が居ることも確かであるが、全体的にはレベルが低いといわざるを得ない。この総合判断と、学生の意識は、この調査では一致してあらわれてきている。

質問6. あなたの英語の実力は、実用になると思えますか？



〈第8図 英語の実用性〉

質問6（第8図）は、英語の実用性について調査したものである。

質問5で表われた結果よりも容易に推察できることであるが、ほとんどの(70~80%)学生にとっては“自分の英語は実用にならないのだ”と感じている。英語教育を6年+2の長期間にわたって受けてきて、わずかに数%の人しか、“自分の英語が実用になる”と感じていないのは、常識的に考えて“何かおかしい”気がする。

以上の調査結果をまとめてみると、現在の中京大学生は、

“英語は嫌いであり、英語力は他人より劣っており、もちろん実用にはならない……しかし、現在も将来も英語が必要で、勉強しなくては、

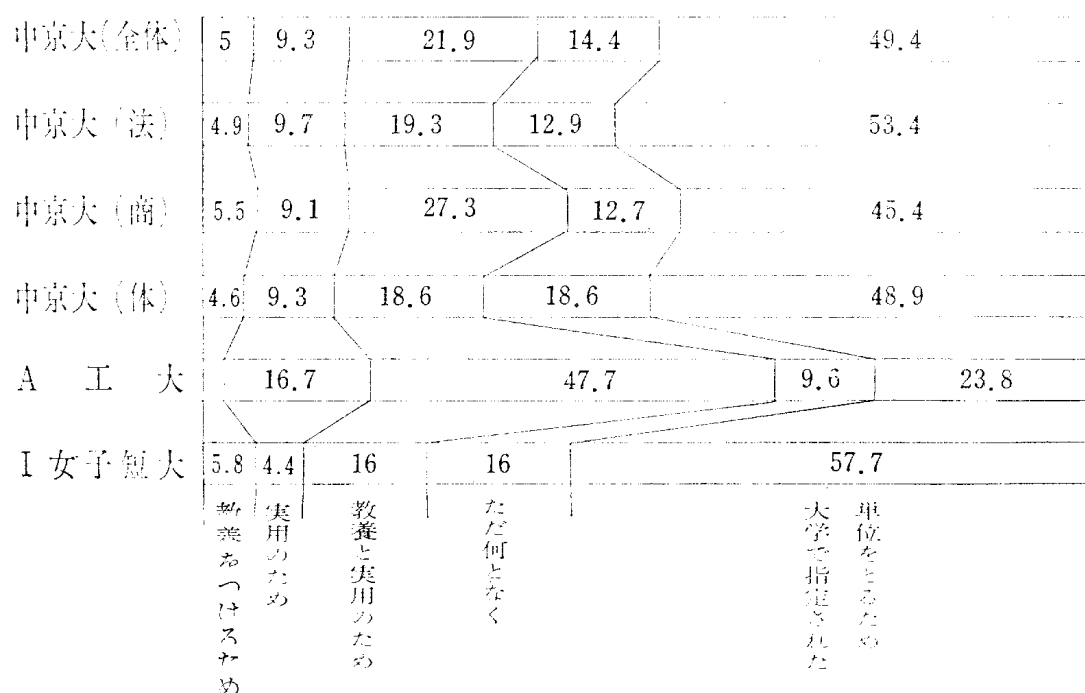
と感じている”

ことがわかり、それでも勉強しても、ちっとも向上しないので頭がいたい…という一種の自己矛盾と、どうにもならないいきづまりの状態にある者が大部分である。

この状態にまで追い込まれた事実、はたして学生本人の学習能力にだけ責任をかぶせることができるであろうか？、一端の責任は、日本の教育システムに何らかの責任があるのではなからうか？、現在のシステムから出てきたアウトプットが、この状態であるならば、このままこのシステムを運営していくこと自体がシステム設計者、オペレーターの怠慢といっても過言ではない。

中学校、高校、大学の英語教育に関するサブシステム間の最適化、機能の明確化、シーケンス、環境etcのトータルシステムとして英語教育システムの確立が急がれる理由がここに存在している。

質問7. あなたは何のために、現在英語を学んでいますか。



〈第9図 英語学習の目的〉

質問7（第9図）は、英語を学んでいる目的を調査したものである。

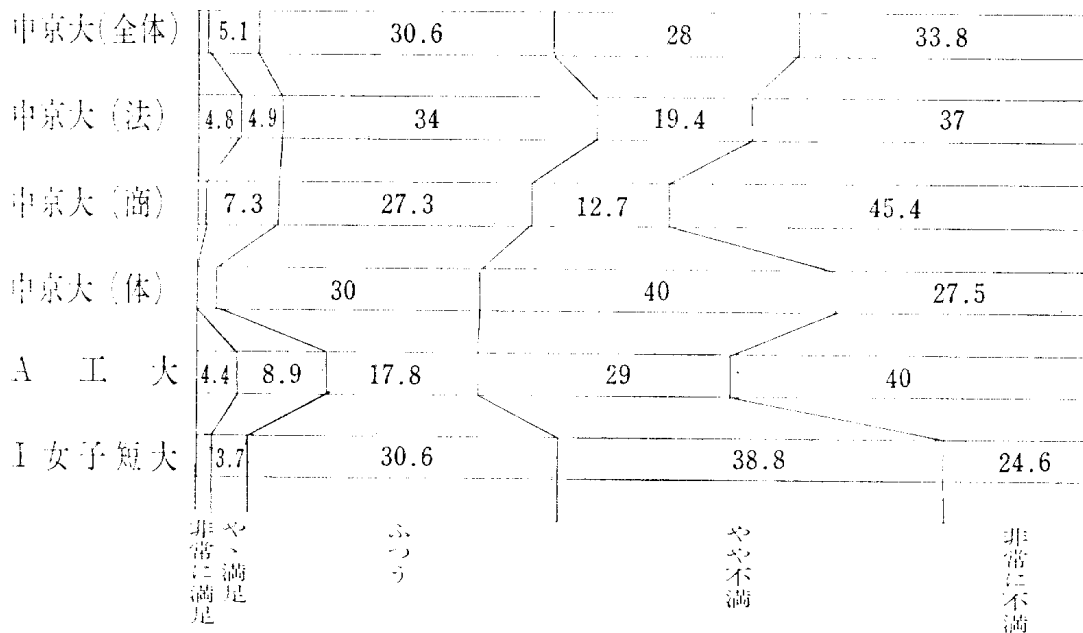
約半数の学生は、全く消極的な“単位のため仕方なし”という感じで、現在勉強を続けている。ただ何となく、目的も理由もない学生が、10～20



％もクラスの中にいる無目的の学生が半数以上もいる教室で授業をすすめること自体に、英語授業の効率をかなり低下させているひとつの原因が存在しているように思われる。システムの機能の明確化と、目的別、実力別 etc のシステムを設置することにより、学生に対し、強いインセンティブを与えることが重要になってくる。ともあれ、学生は英語の必要性を強く感じ、自由に使えるようになりたいと思っているのだから、学生が望む機能と、それともなうシステムを準備することにより、かなり効率は上昇するのではないだろうか。

ここで、参考として調査したA工大は、若干他の大学と異なった反応を示しているが、これはA工大生が第2部の学生で、社会の苦勞を味わいつつ勉強を続けているため、人生観、社会観がはっきりしており、昼間学生とはかなり勉学に対するインセンティブが異なっているためと思われる。このことは、今回の調査全般にわたっていえることである。この事実は、ソ連やアメリカのノースウェスタン大学で行なわれているような、産学交互授業システム（6カ月大学で授業を受け、6カ月社会で働き、8年かかって卒業する）の存在理由がある。

質問8. 大学入学以前の英語教育についてあなたは満足していますか？



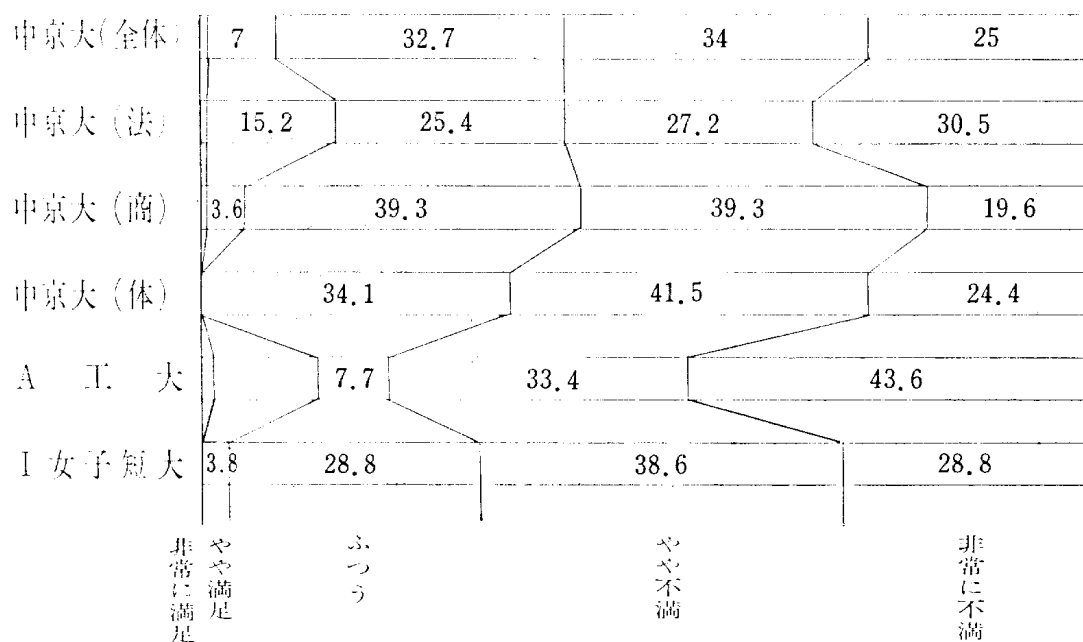
〈第10図 英語教育の満足度(大学以前)〉

質問8 (第10図) 大学以前の英語教育に対して満足しているかどうかを

調査したものである。

満足していると答えている者は、全体わずか数%であり、半数以上は不満感をいだいている。不満の主たる理由は、やはり受験英語であり、文法と難解な訳にしばりつけられた授業システムに強い不満を感じている者が多い。

質問9. 現在の大学の英語教育についてあなたは満足していますか？



〈第11図 英語教育の満足度（大学）〉

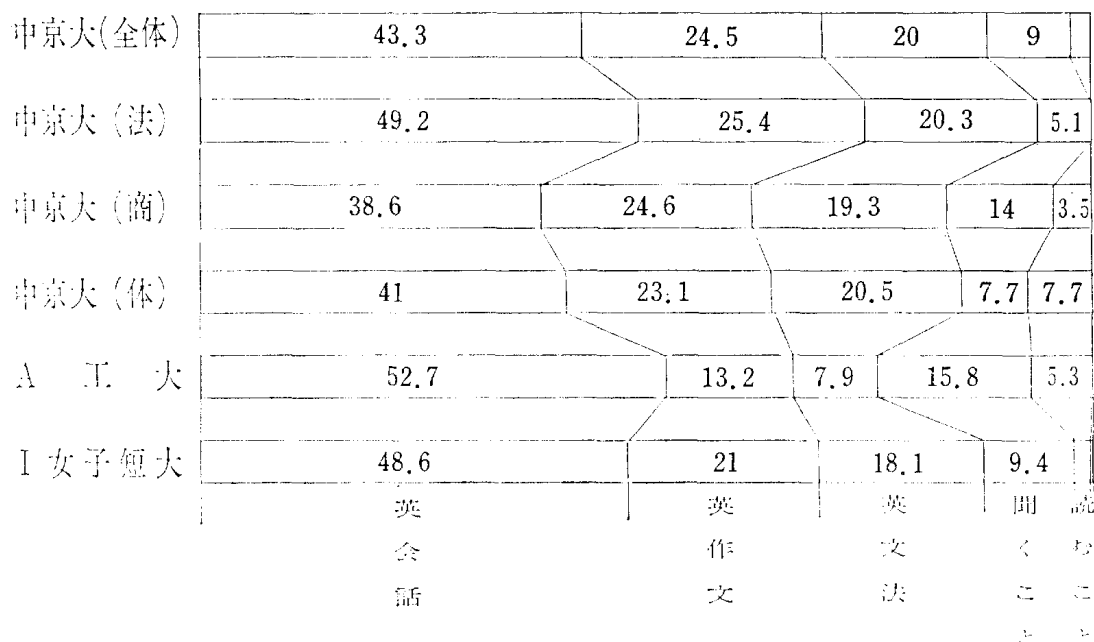
質問9（第11図）は、大学へ入学後の英語教育についての満足度を調査したものである。やはり半数以上の学生が不満を感じているのが現状である。不満の理由として、彼らがあげているものは、講読中心で面白くない、全く実用的でない、高校教育のやり直しだ、etc であり、実用性や社会性に欠けた授業内容に対して強い不満を示している。

ともあれ、これらの2つの調査で示された現在の英語教育システムに対する不満感に対して、われわれは、“学生の質が悪い”とか“設備の不足”とかいった問題であっさり逃げてしまうことなく、今一度早急に新システム確立へ国家的な規模で努力しなければならないのではないか。

質問10（第12図）は、英語における弱点の調査である。

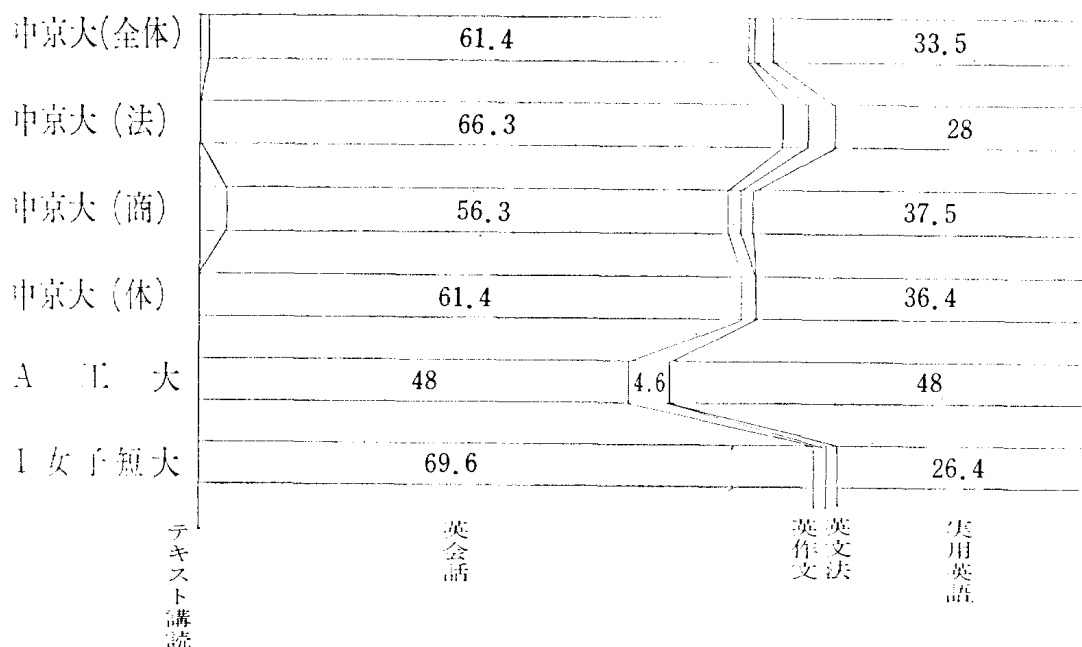
この質問に対しては、ほとんどの学生は、“英語自体が弱点であるから、総てダメだ”という答をしている。しかし、あえてひとつあげよというこ

質問10. あなたの英語に関する実力のうち次のどの面が特に弱いと思いますか？



〈第12図 英語における弱点〉

質問11. あなたは大学の英語の授業において何を希望しますか？



〈第13図 大学英語教育への希望〉

とで調査を行なった結果が、第12図に示されている。やはり、中学、高校であまりやらなかった“話すこと”“書くこと”に弱点が集中している。読むことが中心であった過去の英語教育システムの結果が、この調査には

つきり現われてきている。話すこと、書くことができないという事実が、現代の学生の語学コンプレックスを助長しているように思われる。

あくまで、語学は総合的な実力を養成するよう教育プログラムを組むべきで、“読むことができればよい”というような語学教育は今後改められなければならない。

それでは、大学の英語では、何を主として行なえばよいのだろうか。その答を出すために質問11にて、学生の考えている大学英語教育への希望事項の調査を行なってみた。調査結果として出てきた答は、圧倒的に英会話であり、実用英語（論文の書き方、手紙の書き方、タイピング、広告文、商業英語 etc）であった。現在までよく行なわれてきたテキスト講読の希望者がほとんどいないという事実は、今後の大学英語教育システムを設計する際に重要なヒントを与えてくれる。一般に教育システムでは、インプットたる学生の希望、時代の流れを無視して、システム設計者の独断で設計運営をすすめるべきではない。

現在の教育システムでは、民主主義というたてまえにより、総ての学生を一緒に教育しようとするところにネックがある。

例えば、筆者の受持つ一商学部の英語のクラスの例をとれば、数人ではあるが、非常に優秀な学生がいる反面、中学生の英語も充分理解できない学生がかなりいる。総ての学生に満足のいくような授業を行なうことは、非常に難しい問題である。

そこで、果して一般に考えられているような実力別にクラス編成をすることが、真に民主主義的ではないのであろうか。むしろ、その人の実力に合った授業を受ける権利を平等に与えられることこそ真の民主主義なのではないだろうか。民主主義のアメリカでは、総ての授業が実力別、機能別にわけられ、学生の方が自由に選択できるようになっている。そこで、この問題を質問（第3表）で調査を行なった。その結果、80%以上の学生が実力別編成に賛成しており、むしろ理解できない授業や、やさしすぎる退屈な授業は、是非至急改善してほしいとの強い希望をもっていることが調査結果にあらわれてきている。

質問12. 大学の英語のクラスを実力別編成にすることに対して

	中京大 (全体)	中京大 (法)	中京大 (商)	中京大 (体)	A工大	工短大
I 人間を差別するから反対	19%	29%	13%	16%	20%	33%
II その人にあった授業が受れるから賛成	81%	71%	87%	84%	80%	67%

第2表 実力別編成の賛否

質問13. 英語のクラスを目的別，実力別の編成を次のようにし，各コースが学期ごとに自由に選択でき学ぶことができるとするならばこのシステムを是非この大学へ導入してほしいと思いますか。

- ※コースA 英文法 上級 中級 初級
- ※コースB 英会話 上級 中級 初級
- ※コースC 英作 上級 中級 初級
- ※コースD テキスト講読 上級 中級 初級
- ※コースE 実用英語 上級 中級 初級

	中京大 (全体)	中京大 (法)	中京大 (商)	中京大 (体)	A工大	工短大
はい	88%	85%	91%	90%	83%	82%
いいえ	12%	15%	9%	10%	17%	18%

第3表 目的別実力別編成の賛否

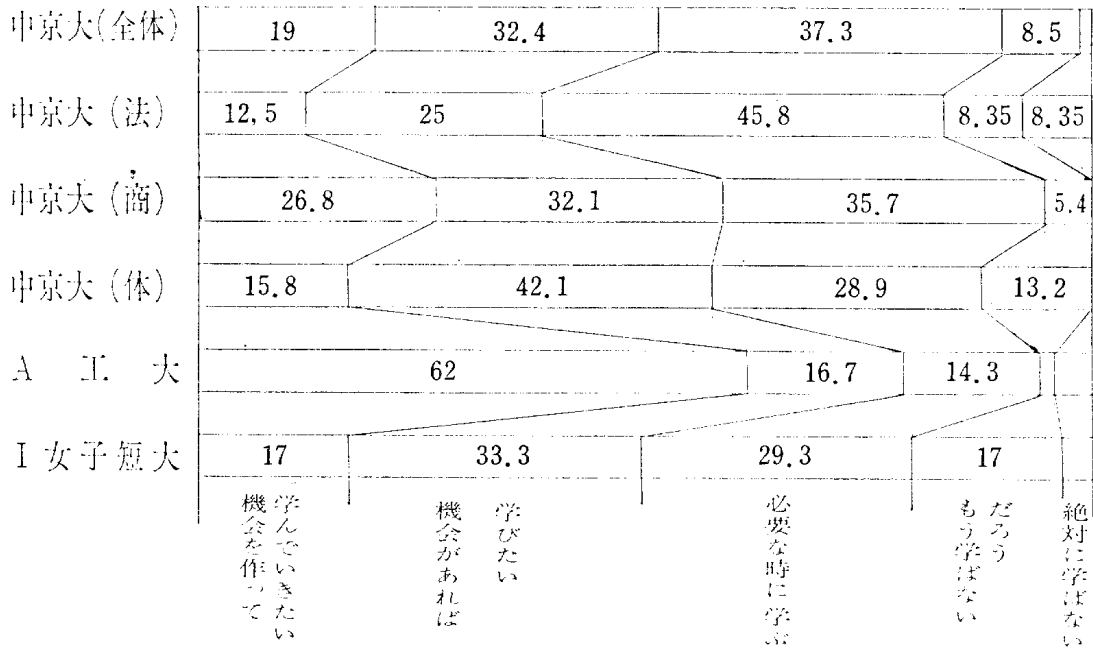
それでは，アメリカの大学式に英語の授業を目的別，実力別に再編成し，英文法，英会話，英作，テキスト講読，実用英語 etc について，上中初級のコースを設けて，学生が自由に選択できるシステムをこの大学へ導入してほしいかという質問13(第3表)に対して，ほとんど総て(約90%)の学生が是非そうしてほしいと答えている。現在の画一的無選択の英語教育システムを急に変革するということは，いろいろと問題はあられると思われるが，学生の希望する理想システムへできるだけ，近づくように改革への努力を続けなければならないものと思う。

次の調査事項は，学生の英語に対する今後の意欲について調査してみた。質問3，4の調査から，多くの学生は，現在及び将来も，英語の必要性を感じていることがわかったが，果して，不満のある英語教育を受けた

学生が、今後とも嫌いでわからない英語を学ぼうとしているかどうかという問題は、興味深い課題である。

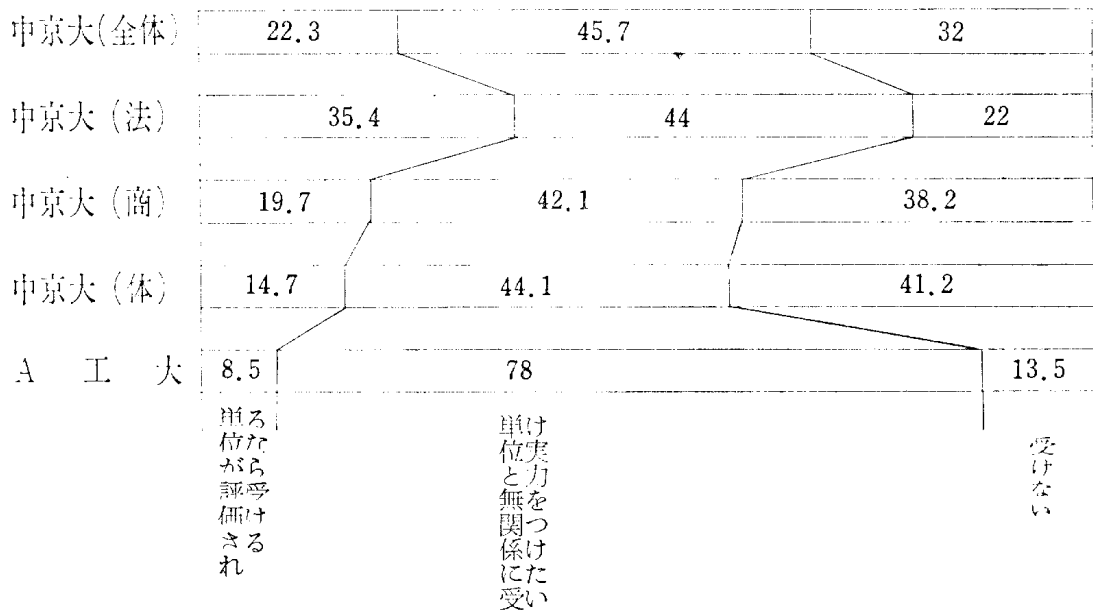
そこで、質問14（第14図）、質問15（第15図）にて、学生の今後の英語学習意欲を調査してみた。

質問14. あなたは将来とも英語を学んでいきたいと思えますか。



〈第14図 今後の英語に対する意欲〉

質問15. あなたは大学の3年生以上に英語の上級クラスが開講されるとするならば、その授業を受けたいと思えますか。



〈第15図 英語に対する意欲（上級クラスの開講）〉

その結果、積極的に英語を学ぶ機会を作って学んでいきたいとする学生が、19%もあり機会があれば学びたい（32.4%）と必要な時に学ぶ（37.3%）という学生を含めて、今後とも英語を学んでいこうとする者は、全体の90%以上を越えている。この調査事実は、現代学生が、多かれ少なかれ英語学習へのモチベーションを内蔵しているのだということを示しており、今後の英語教育システムの設計に、この事実を適切に活用しなければならない。

それでは、大学側が今後とも、英語教育の機会を積極的に与えたとするならば、学生はどうするだろうか？、質問15では、大学の教養課程の英語を2年終了した学生に対して、引続き3年、4年と英語の上級クラスを開講したら、学生はどうするかを調査してみた。興味深いことに、半数近い（45.7%）学生が単位とは無関係に、授業を受け実力をつけたい、と希望しており、開講賛成で、単位が評価されるならば是非受けたいという学生が、22.3%もいる。質問14でも示されたように、現代学生は、一般に考えられているよりも、もっと積極的に英語を学ぶことを希望しているこの事実、目をつぶることなく教える立場の者も、充分認識し、その希望に合った、“学ぶ場”の提供を具体化していく必要があるように思われる。

なお、参考として調査したA工大の場合は、特に積極的に英語を勉強しようとする意欲が大で、大部分の学生が将来とも英語を学ぶ機会を作って勉学を続けたいと考えており、単位に関係なく、英語上級クラスをとりたいと希望している。これはA工大の学生が、第二部学生であり、社会との接触により、必要性を強く感じていることと、一般に勉学に対する意欲が非常に強いためであろう。

質問16. あなたは学校教育以外の場で英語を学んだことがありますか？

		中京大 (全体)	中京大 (法)	中京大 (商)	中京大 (体)	A工大	工短大
I	ない	80	83	78	77	76	80
II	ある	20	17	22	23	24	20

〈第4表 学校教育以外の英語学習の経験〉

最後に英語学習において学校教育システムとそれ以外の英語教育システムが、どのような関連を持っているかを調査するために質問16（第4表）が行なわれた。80%以上の学生が、学校以外で英語を勉強したことがないと答えており、あると答えた学生は、20%未満であった。学校以外で学んだ場所としては、主として一般の学習塾が圧倒的に多く、その他教会、YMCA、英会話学校、テレビラジオ etc があげられている。この結果によれば、あまり大システムAと他のシステムB、C、Dとの間の関連性がないようであるが、今後学校以外の教育システムも1つのトータルシステムのサブシステムとして、有効に活用するシステムを設計していくことが必要である。

以上16項目にわたり、インプット素材の意識調査をおこなってきたが、この結果次のように推論してもよい。…現代の標準的學生は、英語に対して嫌悪感を持っており、自分の実力にはほとんど自信がなく、実用にならない英語にとまどいを感じ、それにもかかわらず英語は現在も将来も必要であるので、なんとか将来とも勉強して自由に使いこなしたいという願望を持っている。また大学の英語の授業としては、英会話や実用英語のような実戦的な英語を強く望み、機能的実力別であって自由に選択可能なクラスの開講に両手をあげて賛成している。

## 5. 外国における語学教育の例

SEDTにおいてインプット素材の調査は、ほんの1部にすぎない。実際のSEDTにおけるシステム設計は、このような複雑な情報収集と設計のくり返しによる step-by-step なプロセスである。この論文では、もう一つの情報収集として、アメリカとドイツの語学教育について、筆者が経験したことをまとめておきたい。

### (5-1) アメリカの英語教育

アメリカでは、英語は国語であるので日本に於ける英語とは全く意味が異っている。しかしアメリカの教育システムは、自由選択性という意味で、新システム設計に非常に参考になる点がある。後述の参考資料(1)は



フロリダ州立大学の英語カリキュラムであるが、外国人留学生向けの**English 100 for foreign student** から始って、大学院博士課程の最終コース **820 D:ssertation Defense** まで約 180 コースが用意されており、学生側は自由にコースを選んで勉強できるようになっている。コースナンバーが小さい方が、レベルが低く、800 に近づくほど専門的になっている。学生は自らの能力と希望の機能とに合ったコースを学期始めにとどけを出し、2 週間の選択期間に各コースを検討し、その後最終的にコースの決定を行う。アメリカは、日本と異って学部間の交流が盛んで、全学部生が文学部の提供するこれらの 180 のコースのうちから、好きなコースを選んで勉強している。もちろん大学の 1～2 年生でも、実力さえあれば大学院のコースをとることもできるし、大学院生であっても 100～150 のコースをとることができる。また筆者のように英文学と全く異った分野で研究を続ける外国人留学生でも、**English 358 Literature of Black America** を選択でき単位認定も許可されるようになっている。……このような自由選択性カリキュラムは、現代の日本の学生が求めている機能別実力別のクラス編成を実施する際に非常に参考になると思われる。

#### （5—2）アメリカにおけるドイツ語教育

参考資料 (2), (3) は、ウィスコンシン大学とカルホルニア大学に於けるドイツ語のカリキュラムである。アメリカの外国語教育の一般的特長は、(a)機能別実力別にわけられたコース編成よりの自由選択性と (b)インテンシブな教育によりかなり効率をあげていることである。例えば外国人でドイツ語の全く知らない人でも、ウィスコンシン大学へ入学し、**Basic Courses** のドイツ語 101→102→203→204→205→225→226 の順でコースをとっていけば、ある程度実用的なドイツ語をマスターできるというわけである。語学の時間は、**Five class hours per week** でほとんど毎日あり、かなりインテンシブなやり方になっている。

#### （5—3）ドイツにおける外国人向ドイツ語教育

ドイツにおいての外国人に対するドイツ語教育は、アメリカと違い（アメリカでは外国人向語学教育は、大学が担当している）、半官半民的な機

関であるゲーテインステュートが実施している。（大学にもコースがあるが、あまりパツとしない）。ゲーテインステュートは、ドイツ国内各地と世界数 10 カ国に設置されており、日本にも東京と大阪にある。ゲーテでは、2 カ月間の単位でインテンシブなドイツ語教育が行なわれており、ほとんどの外国人が、4 カ月間で大学入学に必要な語学力の認定をとることが出来るようにシステム化されている。授業は、日曜日を除いて毎日朝 8. 30 より午後 3. 00 まであり、教科書（*Deutsche Sprachlehre für Ausländer*）と L. L. を使い、10 名前後に 1 人の先生がつき、ドイツ語で授業がおこなわれる。毎週試験があり、能力別クラスに編成されていることはいうまでもない。総ての外国人は民宿に下宿し、24 時間中ドイツ語による生活が強制される。2 カ月の研修のうちには、2 回のピクニックと 2 回のパーティーが行なわれ、自然のうちにドイツ語が身につくシステムとなっている。2 カ月の研修後には、ほとんどの人は、日常会話には困らなくなり、あとの 2 カ月で中級ドイツ語をマスターすれば、大学の授業がうけれるようにまでなるすばらしいシステムである。

#### （5—4）ドイツの大学における語学教育

参考資料(4)は、西ドイツアーヘン工業大学における語学教育カリキュラムである。このコースは、*Philosophische Fakultät* によって提供されており、一応だれでも聴講できるようになっている。しかし一般にドイツの大学語学教育は、機能別実力別になっているといえども、コース数も少なく、授業内容もあまりパツとしないものが多いようである。もちろんゲーテインステュートに比較したら雲泥の差があると言ってよい。

以上のアメリカとドイツの例は、ほんの一例にすぎない。決してこれだけの事例で“アメリカ式が良い”とか“ドイツ式にすべきだ”と言おうとしているわけではなく、今後の英語教育システムの設計の一参考資料として、良い点を取りあげてみたにすぎない。

## 6. 結 論

この調査により、本学学生は一種の“語学ジレンマ”に落入っているこ

とが、はっきりしてきた。英語に嫌悪感をいだき、自らの英語能力はほとんど自信がない。一方では、英語の必要性は、将来にわたり増大しつつある。どうしても自由に使いたいという強い願望を持っている。しかし現在の教育ではどうにもならない。……こんな学生達のジレンマをどのようにしたら解消できるであろうか。本論文では、新しい教育システムの設計法である SEDT のインプット調査と情報収集結果を通じて、この問題を浮きぼりにし、教育システム設計へのヒントを探索してみたわけである。

改革へのヒントとして

- (1) 中学校，高校，大学，会話学校 etc をトータルシステム化する。
- (2) 現在の画一的授業を改め，能力別機能別にコースを再編成し，自由に学生が選択出来るようにする。
- (3) 特に英会話と実用英語に重点を置き使える英語にすること。
- (4) 効率をあげるため，インテンシブコースを設置する。
- (5) 3年生以上にも，自由に選択できるコースを設置する。
- (6) 外国との接触を保つため，本学と世界各国の大学と姉妹校を作り，留学生の交換などの活動を行う。
- (7) 自然に囲まれた場所に，他大学と共同で語学村を作り，外国語のインテンシブ教育を行う。
- (8) 初歩的な段階でわからなくなった学生のために，語学再教育センターを設置し，初歩より勉強する機会を与える。

等々いろいろ考えられるが，要するに重要な事は，上記の提案が実施されより良き成果をあげることである。

最後にこの論文に資料を提供下さいましたアメリカ文化センターの皆様とインゴット研究所の加藤仁氏，また統計的な面で御協力下さいました名古屋市立大学の井原俊輔氏と調査に協力して下さいました各大学の学生諸君に深く感謝致します。

## 7. 参 考 文 献

- (1) 辻功 “教育調査法” 誠文堂新光社 s45.

- (2) 日比野省三 “S E D T と教育の効率化” 中京大学教養論叢第11巻第2号, 1970
- (3) ドナルド・P・エックマン “システム研究と設計” 日本能率協会 1969.
- (4) H. チェスナット “システム工学の方法” 日本経営入版会 1969.
- (5) 日比野省三 “教育とシステム設計” 中京大学教養論叢第11巻第1号 1970
- (6) G. Nadler “Work Design” IRWIN 1963
- (7) M. D. メサロヴィッチ “一般システム理論の研究” 日本能率協会 1971

## 8. 参 考 資 料

### 資料

#### 〔1〕 アメリカフロリダ州立大学英語カリキュラム

##### a. 外国人学生向

100 for foreign student

##### b. 教 養 課 程

100. Written Communication (6). Parallels English 101 but includes 3 hours of additional, individual instruction in basic composition skills Only three hours may be applied toward graduation. Restricted enrollment.
- °101-102-103, °111. Written Communication (3 hours each). May be taken for credit only.
- °120r. Study and Reading Skills (3). May be taken for credit only.
201. Major British Authors Before 1660 (3).
202. Major British Authors 1660-1800 (3).
203. Major British Authors Since 1800 (3).
225. Literature Since 1945 (3).
231. Social Problems in Literature (3).
232. Problems of Belief in Literature (3).
301. Article and Essay Workshop (3). May be taken for credit only.
- \*302r. Poetry Workshop (3). May be taken for credit only.  
Prerequisite: English 372.
- \*303r. Drama Workshop (3). May be taken for credit only.  
English 371 recommended as preparation.
- \*304r. Fiction Workshop (3). May be taken for credit only.  
English 371 recommended as preparation.
307. Fundamentals of Journalistic Writing (3).
309. Writing for Broadcasting (4).
310. Chaucer (3).

- 316. Shakespeare's Early Plays (3).
- 317. Shakespeare's Later Plays (3).
- 343. Early Romantic Poetry (3).
- 344. Later Romantic poetry (3).
- 345. Victorian Literature 1832-1859 (3).
- 346. Victorian Literature 1859-1901 (3).
- 354. American Literature Before 1868 (3).
- 355. American Literature 1865-1914 (3).
- 356. American Literature Since 1914 (3).
- 358. Literature of Black America (3).
- 370. Readings in the Short Story (3).
- 371. Narrative Technique (3).
- 372. Poetic Technique (3).
- 375. The Bible as Literature (3).
- 380. Introduction to Language Study (3).
- 381. Introduction to Transformational Syntax (3).
- 382. The History of Standard English (3).
- 383. The Sounds of English (3).
- 399r. Special Topics in English (1-3). (Approved for S or U grade only.)

## c. 専門課程

- \*401r. Advanced Article and Essay Workshop (3). May be taken for credit only.
- \*402r. Advanced Poetry Workshop (3). May be taken for credit only.
- \*404r. Advanced Fiction Workshop (3). May be taken for credit only.
- 405. Rhetorical Theory (3). prerequisite: English 301.
- 409. Writing for Broadcasting (4). Prerequisite: English 309.
- 411. Medieval Literature in Translation (3).
- 417. Elizabethan and Jacobean Drama (3).
- 421. Sixteenth-Century Poetry (3).
- 426. Seventeenth-Century Poetry (3).
- 428. Milton (3).
- 431. The English Novel Before 1800 (3).
- 434. Restoration Literature (3).
- 435. Early Eighteenth-Century Literature (3).

- 436. Late Eighteenth-Century Literature (3).
- 441. The Early Nineteenth-Century British Novel (3).
- 442. The Late Nineteenth-Century British Novel (3).
- 446. Browning (3).
- 451. The American Novel to 1870 (3).
- 452. The American Novel, 1870-1940 (3).
- 453. The American Novel after 1940 (3).
- 456. Hawthornn and His Contemporaries (3).
- 457. Mark Twain and His Contemporaries (3).
- 458. William Faulkner and His Contemporaries (3).
- 459. Literature of the South (3).
- 461. The Britsh Novel Since 1910 (3).
- 464. The Irish Literary Tradition (3).
- 466. British and American Drama to Shaw (3).
- 467. Continental Drama to 1920 (3).
- 468. Drama of the eWestern World Since 1920 (3).
- 470. Tragedv (3).
- 471. 472. The European Novel I, II (3, 3).
- 473. Fundamentals of Folklore (3).
- 474. 475. Twentieth-century Petry I, II(3, 3).
- 477. Literary Criricism (3).
- 479. History of English Literature (3).
- 481. Transformational Syntax (3). Prerequisite: English 381.
- 482. History of English Structure (3). Prerequisite: English 382.
- 483. Applied English Linguistics (3). Prerequisite: English 383.
- 485. American Dialects (3). Prerequisite: English 383, Communication 227, or Modern Languagges 415.
- 486. Distinctive Feature Phonology(3). Prequisite: English 383.
- 489. Senior Seminar in Linguistics (3).
- 491, 492, 493, 494. Directed Individual Study (3 hours each).
- 495r. Seminar in Literature (3). Prerequisite: Junior or senior rank; permission of instructor.
- 499r. Honors Work (3).

d. 大学 院 課 程

- 500S. Composition for Teachers (3).
- 501. Old English (3).
- 502. Raeadings in Old English (3). Prerequisite: English 501.

- 503-504. Beowulf I-II (3-3). Prerequisite: English 501.  
 505. History of the English Language to 1400 (3).  
 506. History of the English Language Since 1400 (3).  
 507. History of English Syntax (3).  
 508. Middle English (3).  
 509. Readings in Early Middle English (3). Prerequisite: English 508.  
 510. The Canterbury Tales (3).  
 511. Chaucer's Early Poetry (3).  
 512. Readings in Later Middle English Literature (3).  
 515. Studies in Early English Drama (3).  
 516-517. Shakespeare I-II (3-3).  
 518. Shakespeare's Contemporaries (3).  
 519. Shakespeare's Successors to 1642 (3).  
 521, 522. Studies in the Renaissance I, II (3, 3).  
 523. Spenser (3).  
 525. Seventeenth Century Prose (3).  
 526, 527. Studies in Seventh-Century Poetry I, II (3, 3).  
 528. Milton (3).  
 531. The British Novel Before 1800 (3).  
 534. Restoration Literature (3).  
 535. The Age of Pope (3).  
 536. The Age of Johnson (3).  
 537. Restoration Drama (3).  
 538. Early Eighteenth-Century Drama (3).  
 539. Late Eighteenth-Century Drama (3).  
 541. Studies in the Early Nineteenth-Century British Novel (3).  
 542. Studies in the Late Nineteenth-Century British Novel (3).  
 543. Blake, Wordsworth, and Coleridge (3).  
 544. Byron, Shelley, and Keats (3).  
 545. Romantic Prose (3).  
 546, 547. Studies in Victorian Literature I, II (3, 3).  
 548. Studies in Late Victorian and Edwardian Literature (3).  
 551. Early American Literature (3).  
 552, 553. Studies in American Romanticism I, II (3, 3).  
 554, 555. Studies in American Realism I, II (3, 3).  
 559. Studies in Southern Literature (3).

- 561. Studies in the British Novel Since 1910 (3).
- 562, 563. Twentieth-Century Poetry I, II (3, 3).
- 564. Studies in Irish Literature (3).
- 565. Studies in Twentieth Century British Literature (3).
- 566. Studies in British and American Drama to Shaw (3).
- 567. Studies in Continental Drama to 1920 (3).
- 568. Studies in Western Drama Since 1920 (3).
- 569. Studies in Current Rhetorical Theory (3).
- 570. Bibliography and Methods of Research (3).
- 571. Studies in the European Novel (3).
- 572. Modern Critical Theory (3).
- 573. Folklore: Myth, Legend, and Tale (3).
- 574. Folklore: Ballad and Song (3).
- 575. Studies in Tragedy (3).
- 576S. Literature for Teachers (3).
- 577. History of Criticism to Johnson (3).
- 578. Criticism from Coleridge to Eliot (3).
- 579. Criticism Since Eliot (3).
- 580. Introduction to the Study of the English Language (3).
- 581-582. Transformational Syntax I-II (3-3).
- 583. Phonetics and Phonemics (3).
- 584. Semantic Theory (3). Prerequisite: English 581.
- 585. Distinctive Feature Phonology (3).
- 586-587. Development of Linguistic Thought I-II (3-3).
- 588. Current Linguistic Theories (3).
- 589. English Dialects (3). prerequisite: English 583 or equivalent.
- 590. Quantitative Stylistics (3). Prerequisite: English 584.
- 591. A, B, C, D. Directed Individual Study (3 hours each).  
(Approved for S or U grade only).
- 594. Teaching Reading in College (3).
- 595. Teaching English in College (3).
- 596S. Linguistics for Teachers (3).
- 597r. Supervised Research (1-9). (Approved for S or U grade only).
- 598r. Supervised Teaching (1-9). (Approved for S or U grade only).
- 599. Thesis (5-9). (Approved for S or U grade only).



- 670r. Seminar in Literature (3-6).
- 680r. Seminar in Language (4-6).
- 697. Readings in Literature (3-6).
- 698. Readings in Language (3-6).
- 699. Dissertation (18- ). (Approved for S or U grade only).
- 800. Master's Comprehensive Examination (6).
- 810. Preliminary Doctoral Examination (0).
- 820. Dissertation Defente (0).

資料

〔2〕 ウィスコンシン大学ドイツ語カリキュラム

GERMAN

Professorrs Loram(Chaiman), Baeumer, Grimm, Hermand, Kirchberger, Riegel, Seifert, Workman; Associate Professors Cunliffe, Eichhoff, Geitz, V. Nollendorfs, Thomas; Assistant Professors Bathrick, Becker, Berghahn, Brancaforte, Crean, Neuendorf, C. Nollendorfs.

Placement

Each of the first four semester courses is considered equivalent to one unit (one year) of high school German or to one semester of college work at other insitutions, but a student may be asked to repeat work on the basls of his placement test score. (Students entering college no earlier than fall, 1967, may, with permission, be given oredit for repeating the equivalent of one year of high school work.) Placement in more advanced courses is arranged on the basis of records and tests. The German Placement Adviser is to be consulted in all cases of doubt.

Regular Seguence

The regular sequence requires German 101, 102, 203, and 204. With a grad-point average of 3.0 (4.0 basis) in Univeersity German courses, students may eenroll concurently in 204 and 225. After 204 students may take the beginning lterature courses, German 221 and 222 (in that order). A grade-point average of 2.5 or better in 221 and 222 is the prerequisite for 300-level courses.

Honors Seguence

The honors sequence allows good students to complete the first and second year language courses and thet third year literature courses in four seme-  
sters.

The honors sequence consists of German 181, 182, 283, and 284. Students may transfer from the regular to the honors sequence or vice versa at appropriate designated points. German 284 may be taken concurrently with 226, and 284 is to be followed by 300-level courses.

#### Advanced Courses

The 600-level courses are open to students who have completed at least two 300-level courses and to graduate students. The 700-level courses are for graduate students only. Other courses are found and described in the course listing.

#### Major

The major in German requires a minimum of 23 hours of German courses at the 221 level and above. Among these courses must be 226 or 412, two 300-level courses, German 611, and one additional 300-level or 600-level course. Majors must also have at least 8 credits or pass the Intermediate Examination (page 22) in a second language.

Students who intend to specialize in German literature are advised to do related work in such fields as English, history (especially history of Germany), history of art, history of philosophy, and advanced study in a second language.

A Certificate of Oral Proficiency in German is awarded to those who pass the oral proficiency test. This certificate is required of German teaching majors and minors in the School of Education.

#### L&S General Honors Program

Undergraduate students may enroll for honors in any course for which they are qualified, whether they are in the General Honors program or not. In courses which are not strictly honors sections, honors work involves conferences and additions to the regular course work.

The junior-senior honors curriculum in German consists of honors credit in the following: German 284; 226; 412; two 300-level courses including, if possible, 382; 611; 681; 682; 683. Candidates may substitute two 600-level courses, with a major paper in each for 681 and 682, the honors thesis sequence. It is also possible to substitute one 600-level course with a major paper for 681 and to complete the honors thesis in 682 as an extension of work done in 683.

### Basic Courses

101 First-Semester German. 1, II; 4 cr. Five class hours per week.

102 Second-Semester German. 1, II; 4 cr. Five class hours per week.

Prereq: German 101 or 181, or one year of high school German.

203 Third-Semester German. 1, II; 4 cr. Practice in reading German.

Prereq: German 102, or 182, or two years of high school German.

204 Fourth-Semester German. 1, II; 4 cr. Further practice in reading.

Prereq: German 203, or three years of high school German.

205 Fourth-Semester German—Terminal. 1, II; 2 cr. Prereq: German 203, or three years of high school German. Not for those who plan to continue with German.

### Literature Courses

221 Readings in German Literature. 1, II; 3 cr. Prereq: German 204, or 283 with grade of "A" or "B," or German 225, or four years of high school German.

222 Introduction to German Literature. 1, II; 3 cr. Prereq: German 221.

### Honors Courses

181 First-Semester German. I; 4 H cr. Five class hours per week.

182 Second-Semester German. II; 5 H cr. Five class hours per week.

Prereq: German 181, or 101 with grade of "A," or one year of high school German and membership in the Honors Program.

283 Third-Semester German. I; 4 H cr. Prereq: German 182, or 203 with grade of "A," or three years of high school German and membership in the Honors Program.

284 Fourth-Semester German. 1, II; 5 H cr. Prereq: German 283, or German 204 with grade of "A," or four years of high school German and membership in the Honors Program.

382 Junior Honors Seminar. II; 3 H cr. Prereq: One 300-level course. Selected topics from 1750 to the present.

681 Senior Honors Thesis. Sem; 3 H cr.

682 Senior Honors Thesis. Sem; 3 H cr. Prereq: German 681 or 683.

683 Senior Honors Seminar. I; 3 H cr. Prereq: German 382. Preparation of a seminar paper as a basis for a possible Honors Thesis.

Advanced Literature Courses

302 Aufklärung und Klassik. Sem; 3 cr. Prereq: German 221 and 222 with a grade point average of 2.5 (4.0 basis) in those courses, or German 284. Honors credit available.

303 Romantik und Nachromantik. Sem; 3 cr. Prereq: Same as for 302. Honors credit available.

304 Realismus und Naturalismus. Sem; 3 cr. Prereq: Same as for 302. Honors credit available.

305 Moderne Literatur. Sem; 3 cr. Prereq: same as for 302. Honors credit available.

Prerequisite for all 600-level courses is two 300-level courses or graduate standing. Honors credit available for all 600-level courses.

611 Survey of German Literature. I. II; 3 cr. Representative works from the oldest records to the eighteenth century.

612 Survey of German Literature. Sem; 3 cr. From the eighteenth century to the present.

632 Goethe. Sem; 3 cr. Life and works other than "Faust."

633 Goethe's "Faust." Sem; 3 cr.

635 Nineteenth-Century German Prose Fiction. Sem; 3 cr.

636 Twentieth-Century German Prose Fiction. Sem; 3 cr.

637 Schiller's Dramas; Sem; 3 cr. Development of German classicism as embodied in Schiller's dramas; theory, structure, and dramaturgy of the classical drama in Germany.

638 German Lyric Poetry from Klopstock to Heine. Sem; 3 cr.

639 German Lyric Poetry from Heine to the Present. Sem; 3 cr.

642 Nineteenth-Century German Drama. Sem; 3 cr.

643 Twentieth-Century German Drama. Sem; 3 cr.

699 Special Reading. Sem; \*cr. Advanced study under guidance; may be

substituted for a course numbered above 612 in satisfaction of certain advanced degree requirements.

Graduate standing is a prerequisite for all 700-level courses, unless a student has special permission. For descriptions of these and other advanced courses see bulletin of the Graduate School, Social Sciences and Humanities.

#### Composition, Culture, and Service Courses

Only German 226 and 412 are honors courses. For descriptions of the more advanced courses, see the bulletin of the Graduate School, Social Sciences and Humanities.

225 Intermediate Composition and Conversation—First Semester. 1, II; 3 cr. Grammar review and conversation. Prereq: German 204, or 203 with 3.0 grade-point average in University German courses.

226 Intermediate Composition and Conversation—Second Semester. 1, II; 3 cr. Prereq; German 225 or 283.

410 Deutsche Kulturgeschichte. Sem; 3 cr. Characteristic periods and movements in cultural development—since 1750.

#### 資料

〔3〕カリフォルニア大学ドイツ語カリキュラム

#### Lower Division Courses

\*\*1. Elementary German. (4) I, II, III. The Staff  
Beginner's course.

2. Elementary German. (4) I, II, III. The Staff  
(Continuation of 1.)

3. Elementary German. (4) I, II, III. The Staff  
(Continuation of 2.)

4. Intermediate German. (4) I, II, III. The Staff  
(Continuation of 3.)

5. Intermediate German. (4) I, II, III. The Staff  
(Continuation of 4.)

5S. Scientific Readings. (4) I, II, III. The staff  
Readings in modern scientific literature; recommended for students with a scientific interest. Student may satisfy his fifth quarter of the

general language requirement by taking German 5 or 5S.

6. Intermediate German. (4) II, III. Mrs. Konrad

(Continuation of 5.)

8A-B-C. German Conversation. (2-2-2) A I; B II; C III. The Staff

Prerequisite: German 3 or equivalent prerequisite to A, German 4 or 8A prerequisite to B, German 5 or 8B prerequisite to C.

Conversation course conducted entirely in German. Meets two hours per week.

IIA-B. Elementary German—Intensive Course. (6-6) A I, B II. The Staff

Three quarters in two; equivalent to German 1, 2, and 3. Two hours daily, four days per week.

\*\*An intensive course in German is also offered See German IIA-B.

16 Introduction to Methods of Literary Interpretation. (4) I, III. The Staff

Highly recommend for the German major with literary interest. Interpretation of basic texts of the major genres.

Upper Division Courses

101A-B. Advanced Composition and Conversation. (4-4) A I, II, III; B I, II, III. The Staff

A is prerequisite to B.

102A-B-C. Advanced German Conversation. (2-2-2) A I, B II, C III.

The Staff

Prerequisite: German 6 or 16 or equivalent. Does not count toward 40 unit German major.

107. Contrastive Structures in German and English. (4) Mr. Gottschalk

110A-B. Stylistics. (4-4) A II, B III. Mr. Gottschalk

A is prerequisite to B.

III. Interpretation of Texts. (4) II. Mr. Steinhauer

Prerequisite: German 6 or 16. Analysis of selected texts from all the genres to help the student acquire skill in reading with critical discernment.

115A-B-C. Survey of German Literature. (4-4-4) A I, B II, C III. The Staff

Prerequisite; German 6 or 16. Students should like 115A-B-C concurrently with 101A-B.

A: Literature from the High Middle Ages through form and Stress; B: Classicism and Romanticism; C: Büchner to Brecht.

120 History of the German Language. (4) III. Mr. Gottschalk

121. Middle High German Literature. (4) II. Mr. Tobin
- °124. Baroque Literature. (4) I. Mr. Seidenberg
- °126. German Literature of the Enlightenment. (4) Mr. Seidenberg  
127A-B. Goethe. (4-4) A II, B III. Mr. Atkins  
A (or 115B) is prerequisite to B.
- °128. Goethe's Faust. (4) III. Mr. Atkins
- °129. Romanticism. (4) Mr. Tobin
130. Schiller. (4) I. Mr. Linn
- °131. Studies in the Age of Goethe. (4-12). Mr. Atkins, Mr. Linn  
One of the following will be emphasized: A. Drama, B. Herder, C. Hölderlin, D. Novalis, E. Liebig, F. Hoffmann, G. Eichendorff. May be repeated for a maximum of 12 units.
- \*132. Realism and Naturalism in German Literature (1830-1890). (4)  
Mr. Linn, Mr. Steinhauer
134. Studies in Nineteenth Century German Literature. (4-12). K I  
Mr. Exner, Mr. Steinhauer  
One or more major figures will be studied in each quarter; A. Heine, B. Büchner, C. Mörike, D. Annette von Droste-Hülshoff, E. Hebbel, F. Stotm, G. Keller, H. Meyer, I. Fontane, J. Raabe, K. Hauptmann. May be repeated for a maximum of 12 units.
- \*135. German Literature of the Twentieth Century. (4) Mr. Exner  
Miss Mahlendorf
137. Studies in Twentieth Century German Literature. (4-20). D III.  
Mr. Exner, Miss Mahlendorf  
One or more major figures will be studied in each quarter: A) Mann, B) Rilke, C. Kafka, D) Brecht. E) Musil. May be repeated for a maximum of 20 units.
- 150A-B-C. German Civilization. (4-4-4) C II. Mr. Steinhauer, Mr. Tobin  
A is prerequisite to B; no prerequisite for C. A and B; Geography, history, cultural history and philosophy. C: The arts.
198. Readings in German. (1-2) The Staff
199. Independent Studies in German. (1-5) I, II, III. The Staff  
199 Courses are limited to 5 units in one quarter and 12 units total.

German 201A is a prerequisite for all seminars and should therefore be taken during the first year of graduate studies.

- 201A-B. Bibliography and Methods of Criticism. (2-2) A I, B II. Mr. Atkins
- 202A-B. Gothic. (4-4) A II, B III. Mr. Waterman
- \*203A-B. Middle High German Literature (4-4) A II, B III. Mr. Tobin  
Prerequisite; German 121A or equivalent.
- 204A-B. Old High German. (4-4) A I, B II. Mr. Waterman
- \*207. Renaissance and Reformation. (4) III. Mr. Atkins
208. Seminar on Seventeenth Century Literature. (4) II. Mr. Seidenberg
209. Seminar on Literature of the Enlightenment. (4) III. Mr. Seidenberg
- \*220A-B. History of German Language. (4-4) A I, B II. Mr. Waterman
222. Seminar in Germanic Linguistics. (4) III. Mr. Waterman
- \*225. Seminar in the History of German Grammar. (4) III. Mr. Waterman
229. Studies in the Age of Goethe. (4-20) B I. Mr. Atkins, Mr. Linn  
studies with special emphasis on one of the following: A. Sturm und  
Drang, B. Kleist, C. Hölderlin, D. the Schlegels, E. the romantic novel.
- \*227A-B. Goethe. (4-4) A I, B II. Mr. Atkins  
A. graduate course, B. seminar.
228. Schiller. (4) II. Mr. Linn
229. Seminar on Schiller. (4) III. Mr. Linn
- \*230A-B. The Romantic Movement. (4-4). The Staff
231. Seminar on Romanticism. (4) III. Mr. Atkins
232. Studies in Nineteenth Century Literature and Thought. (4-44) A I,  
K III. Mr. Exner, Mr. Steinhauer, Mr. Linn  
Studies in nineteenth century literature and thought with special  
emphasis on one of the following major writers: A) Heine, B) Büchner, C)  
Stifter, D) Hebbel, E) Grillparzer, F) Keller, G) Meyer, H) Raabe, I)  
Fontane, J) Nietzsche, K) Schopenhauer. May be repeated for a maximum  
of 44 units.
235. Studies in Twentieth Century Literature. (4-36) B II, E II.  
Mr. Exner, Miss Mahlendorf, Mr. Steinhauer  
Studies in twentieth century literature with special emphasis on one  
of the following major writers: A. Hauptmann, B. Mann, C. Rilke, D.



- Hofmannsthal, E. Kafka, F. Brecht, G. Benn, H. Expressionism, I.  
 Hofmannsthal and the tragic. May be repeated for a maximum of 36 units.
- \*236. Contemporary Literature. (4) Mr. Exner, Miss Mahlendorf  
 Graduate seminar in literature after the second World War.
240. Studies in the Main Main Literary Genres. (4-28) A I. Mr Linn,  
 Mr. Exner, Miss Mahlendorf, Mr. Steinhauer  
 Studies in the main literary genres: A. Lyric, B. Drama, C. Novella,  
 D. Novel, E. Essay, F. Tragedy and the tragic element, G. Comedy.
298. Special Studies. (1-4) I, II, III. Staff
299. Directed Research. (1-6) I, II, III. Staff

資料

〔4〕西独アーヘン工大語学力カリキュラム

Sprachen

- \*Grundkursus Deutsch für schfür Ausländer  
 Scepping, Schmitz-Berning
- 3.8000 Ü 30 siehe Anschlag
- \*Mittelkursus Deutsch  
 Schepping, Schmitz-Berning
- 3.8001 Ü 4 siehe Anschlag
- \*Oberkursus Deutsch  
 Schepping Schmitz-Berning
- 3.8002 Ü 4 siehe Anschlag
- \*Seminar (mit Referaten)  
 Schepping, Schmitz-Berning
- 3.8004 Ü 2 siehe Anschlag
- Französisch für Anfänger  
 Rey
- 3.8010 Ü 4 n. Übereink.  
 Französisch Mittelkurs I  
 Rey
- 3.8011 Ü 2 n. Übereink.  
 Französisch Mittelkurs II  
 Rey
- 3.8012 Ü 2 n. Übereink.  
 Französisch für Fortgeschrittene  
 Rey
- 3.8013 Ü 2 n. Übereink.  
 Technisches Französisch  
 Rey
- 3.8014 Ü 1 n. Übereink.  
 Übersetzungsübungen (Presse, Literatur, Geschichte)  
 Rey

- 3.8015 Ü 1 n. Übereink.  
Baudelaire et la poésie moderne Rey  
(avec interpretation de poésies)
- 1.8016 V 1 n. Übereink.  
Stjistik und Übungen zur Stilistik Rey
- 1.8017 Ü 2  
Englisch I Gastall
- 3.8020 Ü 4 Zeiten siehe Anschlag, Be 114  
Englisch III Gastall
- 3.8022 Ü 4 Zeiten siehe Anschlag, Be 114  
Englisch IV Gasfall
- 3.8023 Ü 2 Zeiten siehe Anschlag, Be 114  
Englisch (Science Texts bzw. ÜÜbersetzungsübungen) Gastall
- 3.8024 Ü 2 Zeiten siehe Anschlag, Be 114  
Englisch (Sonderstudium Städtebau) Gastall
- 3.8025 Ü 2 Zeiten siehe Anschlag, Be 114  
Itajienisch für Anfänger (3 Paralkurse) Calani
- 3.8030 Ü 2 n. Übereink.  
Mittelkursus Italienisch (I. Stufe) Calani
- 3.8031 Ü 2 n. Übereink.  
Mittelkursus Italienicsh (II. Stufe) Calani
- 3.8032 Ü 2 n. Übereink.  
Italienisch für Fortgeschrittene Calani
- 3.8033 Ü 2 n. Übereink.  
Übersetzungsübungen Calani
- 3.8034 Ü 2 n. Übereink.  
Orthoepische Übungen Calani
- 3.8035 Ü 1 n. Übereink.  
Lectura Dantis Calani
- 1.8037 V 1 n. Übereink.  
Scrittori della seconda metà dell' Ottocento Calani
- 1.8038 V 1 n. Übereink.  
Spanisch für Anfänger Valcárcei San Juan
- 3.8040 Ü 4 n. Übereink.

	Mittelkursus Spanisch	Valcárcel San Juan
3. 8041	Ü 4 n. Übereink	
	Spanisch für Fortgeschrittene I	Valcárcel San Juan
3. 8042	Ü 2 n. Übereink.	
	Spanisch für Fortgeschrittene II (Traducciones al español)	Valcárcel San Juan
3. 8044	Ü 1 n. Übereink.	
	Lectura del Quijote	Valcárcel San Juan
3. 8045	Ü 2 n. Übereink.	
	Russisch für Anfänger (ohne Vorkenntnisse)	Steinger
3. 8050	Ü 4 Di, Do 17—18.30 Institut f. Soziologie	
	Russisch für Anfänger II	Steinger
3. 8051	Ü 4 Mo, Mi 17—18.30 Institut f. Soziologie	
	Russisch Mittelkurs	Steinger
3. 8052	Ü 4 Mo, Mi 18.30—20 Institut f. Soziologie	
	Russisch für Fortgeschrittene	Steinger
3. 8054	Ü 4 Di, Do 18.30—20 Lektorat	
	Technisches Russch	Steinger
3. 8055	Ü 1 Di 20—20.45 Lektorat	
	Die Sowjetliteratur der Gegenwart	Steinger
1. 8056	V 1 n. Übereink.	
	Niederländisch I	Baerlecken
3. 8060	Ü 2 n. Übereink.	
	Niederländisch II	Baerlecken
3. 8061	Ü 2 n. Übereink.	
	Moderne niederländische Lektüre: Dichtungen des niederländischen Expressionismus (ohne sprachl. Vorkenninisse)	Baerlecken
3. 7710	Ü 1 Mi 11.45—12.45 Germanist. Institut	
	Mittelniederländische und mittelhochdeutsche Mystikertexte	Baerlecken
3. 7713	Ü 2 Di 11.15—12.45 Germanist. Instiut	